

蘚苔類研究投稿規定 (平成 22 年 8 月 18 日改定)

1. 投稿者は本会会員であること。ただし編集委員会が寄稿を依頼した場合はこの限りではない。

2. 原稿は、和文または英文に限る。原稿の種類は、コケ植物に関する (a) 論文、総説、短報、資料、(b) 文献紹介、(c) 掲示板の記事、(d) その他とする。(a) の原稿は、複数の審査員により審査される。

論文：オリジナルな内容を有する研究論文で、これまでその内容の主要な部分が未発表のもの。

総説：あるテーマのもとに、研究論文、学説、研究法、研究史などを総括し、解説するもの。

短報：内容が論文にまでいたらないもの、研究の予報、中間報告など大きな研究の一部となるもの、速報的な内容をもつものなどで、未発表のもの。

資料：上記以外のもので、とくに記載や記録に主眼がおかれたもの。

3. (a) の原稿の構成は原則として以下の順序とする。

和文原稿：表題 (和文)、著者名 (和文)、著者連絡先 (和文)、著者名 (英文)、表題 (英文)、著者連絡先 (英文)、要旨 (英文)、キーワード (英文)、本文 (和文)、引用文献

英文原稿：表題 (英文)、著者名 (英文)、著者連絡先 (英文)、要旨 (英文)、著者名 (和文)、表題 (和文)、著者連絡先 (和文)、要旨 (和文)、キーワード (英文)、本文 (英文)、引用文献

なお、短報と資料については、原稿の構成はこの限りではない。

4. 原稿は横書きとし、A4 版 400 字づめ原稿用紙を使用すること。ただし、ワードプロセッサを使用する場合は、A4 版用紙を縦長に用い、全周囲に 3 cm 程の余白をとる。英文の場合は、ダブルスペースとし、全周囲に 3 cm 程の余白をとる。

5. 和文中の学名はローマン体、英文中ではイタリック体とする。和名は片仮名書とする。句点、読点はそれぞれ (.) および (,) を使用する。ワードプロセッサを使用する場合は、学名、欧文用語、数字は、半角文字で記すこと。その他、原稿作成上の詳細は、最近号を参照のこと。

6. 原稿の長さは図、表を含め、原則として刷り上り 6 ページ以内 (1 ページは 400 字づめ原稿用紙で 4 枚程度) とする。これを超過するものについては、分割して掲載することがある。

7. 本文中での文献の引用は、著者名と年号 (必要に応じてカッコに入れる) を明記する。引用文献は、本文中に引用したものだけを、著者名の ABC 順に、本文末尾に次の形式で一括掲載する。同一著者の文献は、年号順にし、著者名はダッシュで省略しない。複数著者による文献で、第一著者が同一の場合は、第二著者の ABC 順にする。同一著者でかつ同一

年号の場合は、年号に a, b を付けて区別する。

a. 雑誌：著者名（発行年）. 表題. 掲載雑誌名 巻：ページ.

(例) 服部新佐 (1956). “こけ” という言葉. 蘚苔地衣雑報 1: 4-5.

Horikawa, Y. (1955). Contributions to the bryological flora of Eastern Asia,
1. J. Jpn. Bot. 11: 410-419.

b. 単行本：著者名（発行年）. 表題. ページ数. 発行所, 発行地.

(例) 野口 彰 (1976). 日本産蘚類概説. Vii + 306 pp. 図鑑の北隆館, 東京.

Scott, G. A. M. & I. G. Stone (1976). The Mosses of Southern Australia. Xv +
306 pp. Academic Press, London.

c. 分担執筆：著者名（発行年）. 表題. 編集者, 書名：ページ. 発行所, 発行地.

(例) 天野鉄夫・岩月善之助 (1981). 石垣島の蘚類. 沖縄県自然環境保全地域指定候補地
学術調査報告書: 17-24. 沖縄県, 那覇.

Takaki, N. (1988). Some noteworthy mosses of the Kathmandu Valley. In M.
Watanabe & S. B. Malla (eds.), Cryptogams of the Himalayas, vol. 1 The
Kathmandu Valley: 161-170. National Science Museum, Tsukuba.

8. 線画, グラフ, 写真はすべて図として扱う. 図中の文字や記号は, レタリングなどを使用し, 原則としてそのまま製版できる状態に作成すること. 図は刷り上がり (片段に収める場合は横幅を 7.2 cm, ページ幅の場合は 15 cm) の 1.5~2.0 倍の大きさに作成し, 図の周囲に十分な余白を取る. 線画は黒インクでケント紙, トレーシング用紙などに書き入れたものに限る. 図には通し番号 (図 1, Fig. 1 など) を付ける. 線画や写真でスケールを示す必要がある場合は, 図中に実長を示すスケールを入れる. 表の作成は, 図に準じる. 図表の説明は, 図表と別にし, 本文末尾に別ページにして付けること.

9. 校正は原則として初校のみ著者が行い, 再校以降は編集幹事の責任において行う. 初校校正のときに, 内容の変更や追加をすることは原則として認めない.

10. 原稿の送り先は編集幹事宛とする. 原稿の採否, 修正, 掲載する順序や体裁は編集委員会に一任のこと.

11. 別刷はすべて有料とする.

12. 本誌掲載記事の著作権は本会に帰属します.

13. この規定の変更は幹事会の承認を得て行う.